

安曇野ちひろ公園
トットちゃん広場

5周年

CHIHIRO
ART
MUSEUM
TOKYO
AZUMINO



公益財団法人いわさきちひろ記念事業団

安曇野ちひろ美術館



公益財団法人いわさきちひろ記念事業団

ちひろ美術館・東京

chihiro.jp

高校生以下無料

このチラシご持参で、2名まで入館料大人100円引き

ちひろ 人と作品

いわさきちひろは、子どもを生涯のテーマとして描き続けた画家でした。モデルなしで10ヵ月と1歳のあかちゃんを描き分け、その観察力とデッサン力を駆使して、子どものあらゆる姿を描き出しています。ちひろの作品は、母親として子育てをしながら、子どものスケッチを積み重ねるなかで生まれました。日本の伝統的な水墨画の技法にも通じる、にじみやぼかしを生かした独特な水彩画には、若き日に習熟した藤原行成流の書の影響も見られます。



立てひざの少年 1970年 / チューリップとあかちゃん 1971年

青春時代に戦争を体験したちひろは、「世界中のこども みんなに 平和と しあわせを」ということばを残しています。ちひろが描いた子どもや花は、今もいのちの輝き、平和の大切さを語り続けています。



『戦火のなかの少女』
『戦火のなかの子どもたち』(岩崎書店)より 1972年



緑の風のなかで 1973年

いわさきちひろ (1918~1974)

福井県武生(現・越前市)生まれ、東京で育つ。東京府立第六高等女学校卒。藤原行成流の書を学び、絵は岡田三郎助、中谷泰、丸木俊に師事。1946年日本共産党に入党。1950年松本善明と結婚。同年、紙芝居『お母さんの話』を出版、文部大臣賞受賞。1951年長男猛を出産。翌年、下石神井(東京・練馬)に自宅兼アトリエを建てる。1956年小学館児童文化賞、1961年産経児童出版文化賞、1973年『こたりのくるひ』(至光社)でポロニーヤ国際児童図書展グラフィック賞等を受賞。1974年肝ガンのため死去。享年55歳。現存する作品は約9500点。その他の代表作に『おふろでちゃぶちやぶ』(童心社)、『あめのひのおるすばん』(至光社)、『戦火のなかの子どもたち』(岩崎書店)などがある。



世界の絵本に出会える場所

ちひろ美術館コレクション

ちひろ美術館は、すぐれた子どもの本のイラストレーションを貴重な文化財のひとつとして位置づけ、世界の絵本画家の原画と資料の収集・保存・研究・公開に努めています。絵本のオリジナル・イラストレーションとしては、世界最大規模のコレクションです。

〈34の国と地域207人の画家による27,200点を所蔵(2021年2月現在)〉



Eric Carle,
(image from *The Very Hungry Caterpillar*).
Collection of The Chihiro Art Museum.
©1999 by Penguin Random House LLC.



エフゲーニー・ラチョフ(ロシア)
『てぶくら』(福音館書店)より 1950年

ちひろ美術館・東京



1977年にちひろの自宅の一角に建てられた、世界で初めての絵本美術館。ちひろと世界の絵本画家の作品を紹介する展示室のほか、ちひろの復元アトリエや、ちひろが愛した草花が咲くちひろの庭などがあります。子どもたちが人生で初めて訪れる「ファーストミュージアム」として親しんでいただけるよう、親子で安心して過ごせる設備を整えています。(設計 内藤 廣)

〒177-0042 東京都練馬区下石神井4-7-2
TEL.03-3995-0612



開館時間 10:00~16:00 (入館は閉館の30分前まで)
休館日 月曜日(祝休日は開館、翌平日休館)
○年末年始休館・冬期休館・展示替えのための臨時休館あり
入館料 大人 1000円 / 高校生以下無料 / 年間パスポート 3000円
交通 西武新宿線上井草駅下車徒歩7分



あずみの 安曇野ちひろ美術館

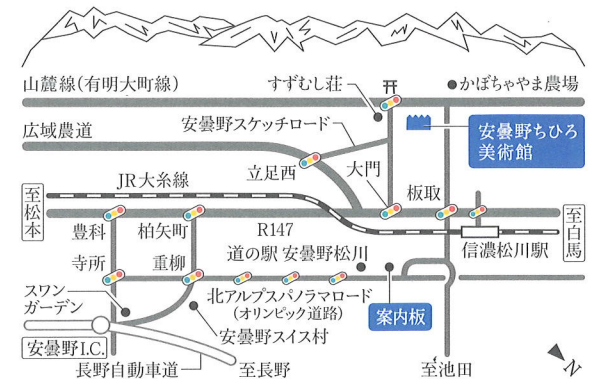
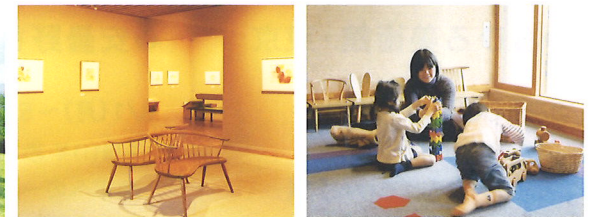


1997年にちひろ美術館の開館20周年を記念して建てられました。両親の出身地・信州は、ちひろが幼いころから親しんだ心のふるさとです。館内の5つの展示室では、ちひろや世界の絵本画家の作品、絵本に関する歴史資料を展示しています。周囲には、北アルプスを望む安曇野ちひろ公園(松川村営)が広がり、自然と触れ合いながら、ゆっくりと過ごすことができます。(設計 内藤 廣)

〒399-8501 長野県北安曇郡松川村西原3358-24
TEL.0261-62-0772



開館時間 10:00~17:00 (3月は~16:00)
休館日 水曜日(祝休日は開館、翌平日休館)
○冬期休館 = 12/1~2月末日
○展示替えのための臨時休館あり
入館料 大人900円 / 高校生以下無料 / 年間パスポート3000円
交通 JR大糸線信濃松川駅より約2.5km (タクシー5分・レンタサイクル15分・徒歩30分) / 長野自動車道安曇野I.C.より車で約30分



※ちひろ美術館(東京・安曇野)は、お客さまに安全にお過ごしいただけるよう、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため十分な措置を講じたうえで、開館しております。当面の間、両館とも開館時間を短縮しています。

開園
5周年

トットちゃん
電車の教室

安曇野ちひろ公園

トットちゃん広場



ランドセルをしょって並んで歩く一年生 1966年(表紙図版も)

2016年に安曇野ちひろ公園を拡充し、その一角につくられた「トットちゃん広場」が、2021年夏、開園5周年を迎えます。ちひろの絵で読み継がれている『窓ぎわのトットちゃん』(ちひろ美術館館長 黒柳徹子・著)の物語にちなんだ「トットちゃん広場」に並ぶ2両の電車「モハとデハニ」は、トットちゃんが授業を受けていた電車の教室の再現と、電車の図書室になっています(入園無料)。



手をあげる少年と遊ぶ子どもたち 1970年代前半



2021年展示予定

※開館情報、会期、展示名は予告なく変更する可能性があります。

●ちひろ美術館・東京

3/16(火)～6/13(日)

- ・没後1年 田畑精一
- 『おいしいのぼうけん』展
- ・ちひろ・子どもは未来

6/19(土)～9/26(日)

- ・生誕111年 赤羽末吉展
- 日本美術へのとびら
- ・ちひろの花鳥風月

10/2(土)～2022.1/16(日)

- ・ピエゾグラフによる
- わたしの好きなちひろ展
- ・ちひろの歩み
- 一童画から絵本へー

●安曇野ちひろ美術館

3/1(月)～5/30(日)

- ・生誕111年 赤羽末吉展
- 絵本への一本道
- ・ちひろ・子どもとあそび

6/5(土)～9/5(日)

- ・現代の町絵師 笑いと反骨の画家 田島征彦展
- ・トットちゃん広場5周年
- 『窓ぎわのトットちゃん』展

9/11(土)～11/30(火)

- ・没後1年 田畑精一
- 『おいしいのぼうけん』展
- ・ピエゾグラフによる
- わたしの好きなちひろ展

トットちゃん広場5周年 『窓ぎわのトットちゃん』展

6月5日(土)～9月5日(日)

1981年に出版され、戦後最大のベストセラーとなった『窓ぎわのトットちゃん』は、国を超え、今なお多くの人々に愛されています。トットちゃん広場の開園5周年、そして刊行40周年にあたる2021年、ちひろの絵とトットちゃんの物語が織りなす本書の魅力をあらためてご紹介いたします。



『窓ぎわのトットちゃん』
(講談社) 黒柳徹子・著
いわさきちひろ・絵 1981年刊

イベント情報など、詳細については、
安曇野ちひろ美術館公式サイトをご覧ください。

公益財団法人いわさきちひろ記念事業団 支援会員制度のご案内

支援会員制度は、広くみなさまにご支援をお願いし、ちひろ美術館の公益目的事業をさらに推進するために設けられた制度です。

【支援会費】1口3000円(1口以上) 【期間】入会日より1年間(翌年の同月末日まで)
【ご寄付いただいた方々へ】

- ・支援会費は「税額控除」または「所得控除」の寄付金控除を受けることができます。
- ・展示案内等を掲載した「ちひろ美術館だより」や「活動報告」を定期的にお届けします。
- ・2口以上ご寄付いただいた方に、両館共通の入館パスを差し上げます。

●お申し込み・お問い合わせは、ちひろ美術館・東京まで●